第136回

2019. 2. 27

企業経営動向調査

公益財団法人　徳島経済研究所

調 査 目 的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対 象 企 業	県内主要企業 301社、回答企業 184社、回答率 61.1％
調査対象期間	2018年10～12月期の実績、2019年１～３月期および４～６月期の予想
調 査 時 点	2019年１月上旬～下旬

要　約

2018年10～12月期の業況判断（季節調整済）はほぼ横ばい
先行き2019年１～３月期は横ばい、４～６月期もほぼ横ばいの見通し

県内企業（全産業）経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI（季節調整済）について、2018年７～９月期と比べ10～12月期（前期→当期：△７→△６）はほぼ横ばいとなった。前回調査時の予想（△９）と比べ、やや改善している。また、過去（2003年７～９月期から2018年10～12月期の約15年間）の業況判断 BSI の平均△16と比較すると、上回って推移している。業種別にみると、製造業（同：△13→△10）はやや改善した一方、非製造業（同：△４→△６）はやや悪化した。

なお、売上げ BSI（同：６→７）はほぼ横ばいとなり、収益 BSI（同：△５→２）は改善した。

先行きの業況判断 BSI は、2019年１～３月期予想（△６）が横ばい、４～６月期予想（△５）もほぼ横ばいの見通しである。

2018年10～12月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期よりも上昇し、総投資額も製造業、非製造業とも増加したことにより、同41.5％増の約195億円となった。先行き2019年１～３月期の計画は、実施企業の比率は前年同期に比べほぼ横ばい、総投資額は同8.9％増の見込みとなっている。

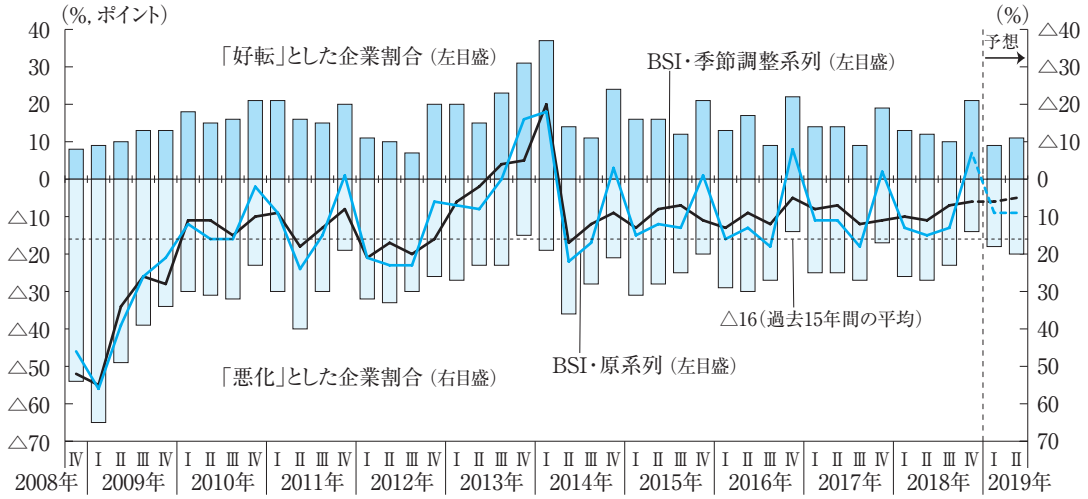
今後１年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

1．概　況（全業種）

【2018年10～12月期の実績】　**業況判断（季節調整済）は前期と比べほぼ横ばい**

県内企業の当期（2018年10～12月期、以下同じ）の BSI（業況が「好転（増加）」回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値（季節調整済））をみると、前期と比べ、収益 BSI（△５→２）は改善、売上げ BSI（６→７）、業況判断 BSI（△７→△６）はほぼ横ばいとなった。県内景気が緩やかな持ち直しの状況が続く中、業況判断 BSI は、2003年７～９月期からの約15年間の平均（△16）を上回って安定的に推移している。

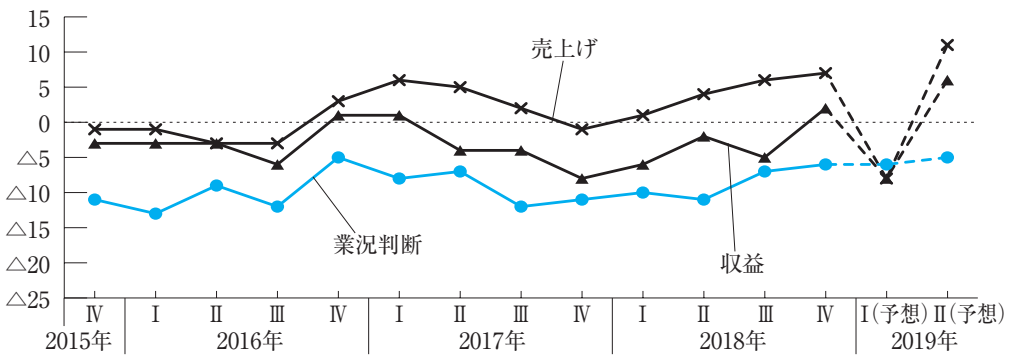
企業経営者による業況判断



Ⅰ（1－3月）、Ⅱ（4－6月）、Ⅲ（7－9月）、Ⅳ（10－12月）

注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

全業種 BSI



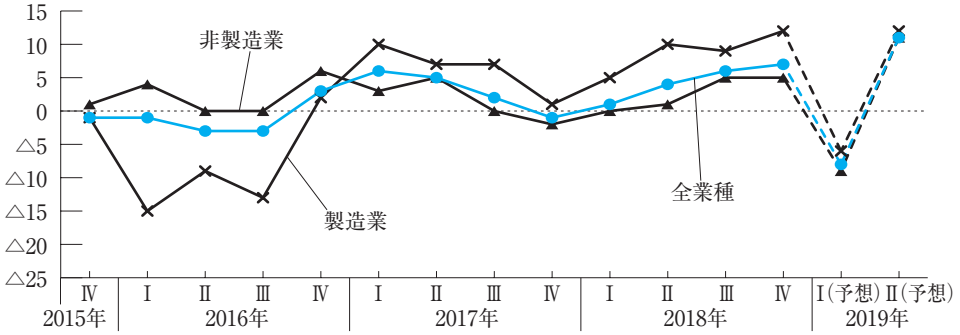
【2019年１～３月期・４～６月期の予想】　**業況判断は横ばいで推移**

2019年１～３月期の予想は、2018年10～12月期に比べ売上げBSI（７→△８）、収益BSI（２→△８）が悪化する一方、業況判断BSI（△６→△６）は横ばいの見通しである。４～６月期の予想は、１～３月期に比べ、売上げBSI（△８→11）、収益BSI（△８→６）は改善の一方、業況判断BSI（△６→△５）はほぼ横ばいの見通しである。

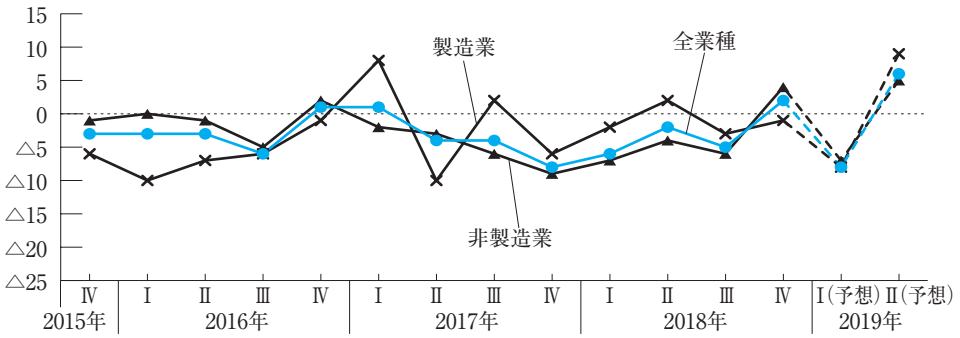
１～３月期の売上げ・収益BSIの悪化の見通しは、前年同期の動きとの比較において、減少・横ばいから増加、もしくは、減少から横ばいとなることを見込む企業の比率が低下したためである（同一企業での比較・原数値ベース）。また、逆の減少などを見込む企業では、規模や業種での偏りは見受けられない。一方、４～６月期の売上げ・収益BSIが改善する見通しは、減少が続くとする企業の比率が低いためである。

総じて見れば、緩やかな持ち直しの基調が大きく変化すると予想されているのではないと考えられる。業況判断BSIの見通しも安定した動きであり、このことを裏付けていると言える。

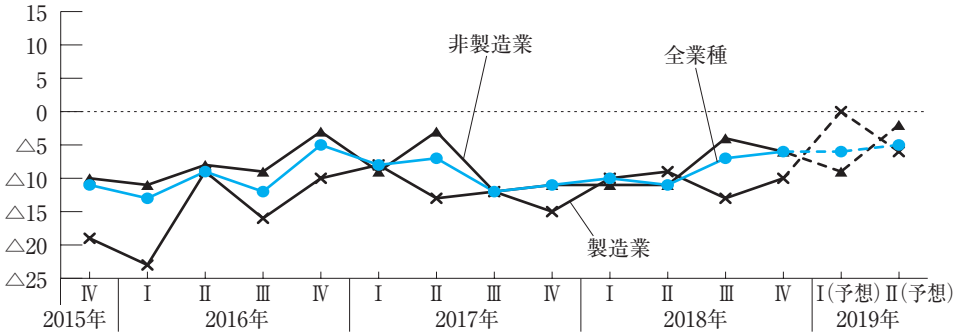
(1)　**売上げＢＳＩ**



(2)　**収益ＢＳＩ**



(3)　**業況ＢＳＩ**



２．製造業の動向

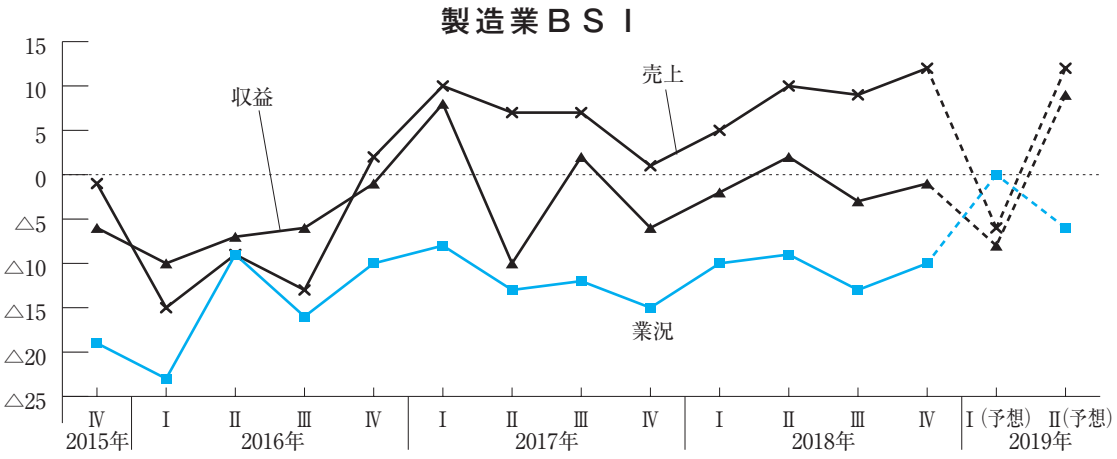
【製造業の現状】　**業況判断はやや改善**

当期は、前期と比べ、売上げBSI（９→12）、収益BSI（△３→△１）、業況判断BSI（△13→△10）はともにやや改善した。景気が緩やかに回復する中、７～９月期に相次いだ自然災害による混乱が早期に収拾したことなども改善に寄与したと考えられる。

【先　行　き】　**業況判断は、１～３月期は改善の一方、４～６月期は悪化の見通し**

2019年１～３月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（12→△６）、収益BSI（△１→△８）は悪化の一方、業況判断BSI（△10→０）は改善する見通し。業況判断BSIがマイナスにならなかったのは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要がみられた2014年１～３月期(17)以来。

４～６月期の予想は、１～３月期に比べ、売上げBSI（△６→12）、収益BSI（△８→９）は改善の一方、業況判断BSI（０→△６）は悪化の見通し。内外の情勢に対して敏感な企業が多い製造業での業況判断の悪化は、米中貿易摩擦など不透明感が根強いことが影響していると思われる。



３．非製造業の動向

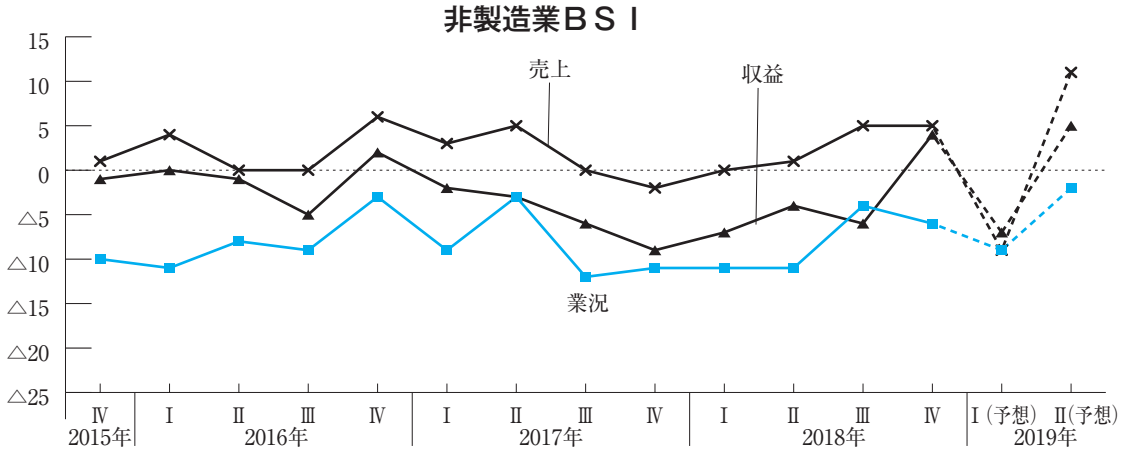
【非製造業の現状】　**業況判断はやや悪化**

当期は、前期に比べ、収益BSI（△６→４）は改善、売上げBSI（５→５）は横ばい、業況判断BSI（△４→△６）はやや悪化となった。業況判断BSIは、猛暑効果のあった前期は小売業を中心に改善がみられたものの、当期は業種全体としてやや勢いを欠く結果となった。

【先　行　き】　業況判断は、1～3月期はやや悪化の一方、4～6月期は改善の見通し

2019年1～3月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（5→△9）、収益BSI（4→△7）は悪化の見通し。業況判断BSI（△6→△9）も、製造業とは逆に、緩やかながらも2期連続でやや悪化する見通し。

4～6月期の予想は、1～3月期予想に比べ、売上げBSI（△9→11）、収益BSI（△7→5）、業況判断BSI（△9→△2）はともに改善する見通し。業況判断BSIについて、業種別でみると（原数値ベース）、運送業、サービス業が改善し、前年同期の悪化とは逆の動きとなっていることが目立つ。

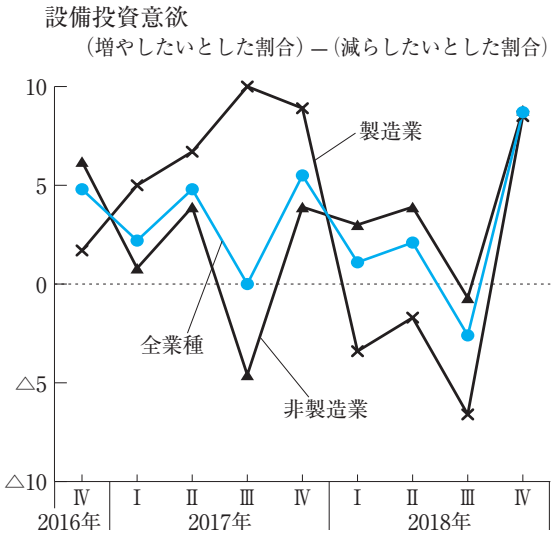


４．設備投資の動向

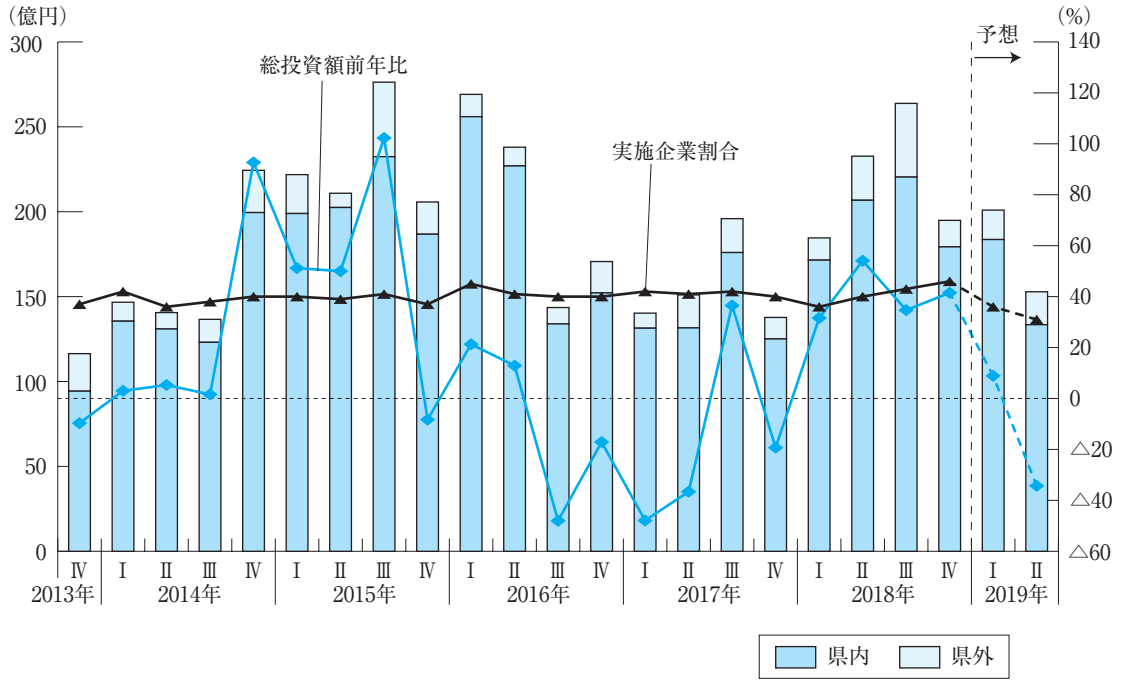
回答企業（全産業）のうち、2018年10～12月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の46.2％、総投資額は194億92百万円（県内投資額は179億30百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業、非製造業とも大幅に増加し、全体では41.5％増となった（前期比では26.1％減）。また、実施企業の割合は6.0ポイント上昇した。

先行きの計画をみると、2019年1～3月期の実施企業割合は36.4％で前年同期より0.6ポイント上昇とほぼ横ばいになるとともに、総投資額は約201億円で前年同期比8.9％増の見込み。一方、4～6月期の総投資額は、約153億円で同34.3％減の見込みである。

今後1年間の設備投資欲（全産業）は、「増やしたい」が23.4％、「減らしたい」が14.7％、「ほぼ変わらない」が62.0％となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（＋8.7ポイント）は、前期（△2.6ポイント）と比べ大幅に上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製　造　業

当期に１百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、54.2％で前年同期より2.5ポイント上昇した。総投資額は、174億63百万円（前年同期119億39百万円）で、大手電気機械を中心に前年同期比46.3％増となった。うち、県内投資額は161億52百万円（同108億33百万円）となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率はほぼ横ばい、「既存設備の補修更新」は低下、「合理化・省力化」は上昇となっている。

先行きの計画について、2019年１～３月期の総投資額は約180億円で前年同期比7.8％増の一方、４～６月期は約140億円で同33.8％減の見込みである。

今後１年間の投資意欲について、「増やしたい」とする企業割合（27.1％）が「減らしたい」（18.6％）を8.5ポイント上回り、この差は４期（１年）ぶりにプラスとなった。

非 製 造 業

当期に１百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、42.4％で前年同期より7.2ポイント上昇した。総投資額は、20億29百万円（前年同期18億34百万円）で、情報通信業、小売業で増加したことにより同10.6％増となった。県内投資額は17億78百万円（同16億74百万円）となっている。

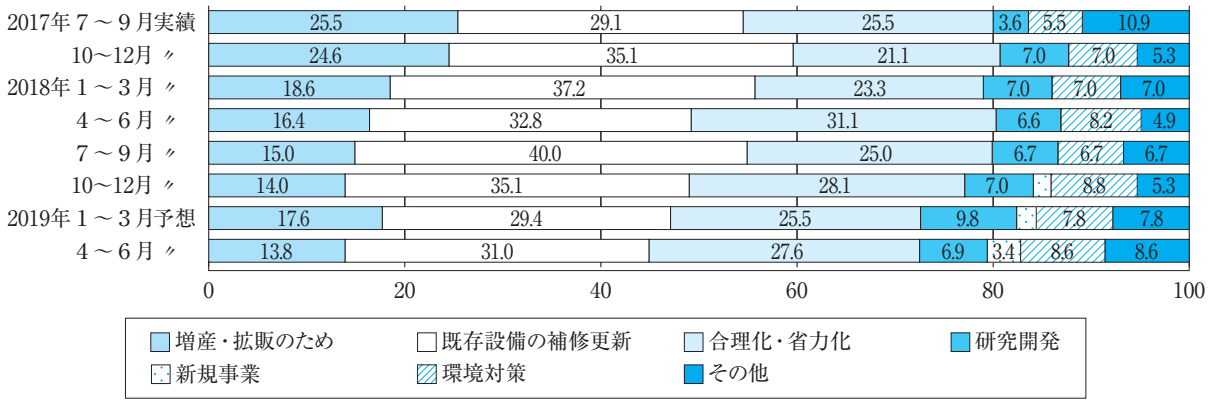
目的別にみると、前期と比べ、「拡販のため」、「合理化・省力化」、「新規事業」の比率が上昇した一方、「既存設備の補修更新」は低下している。

先行きの計画について、2019年１～３月期の総投資額は約21億円で前年同期比19.0％増の一方、４～６月期は約13億円で同39.1％減となる見込みである。

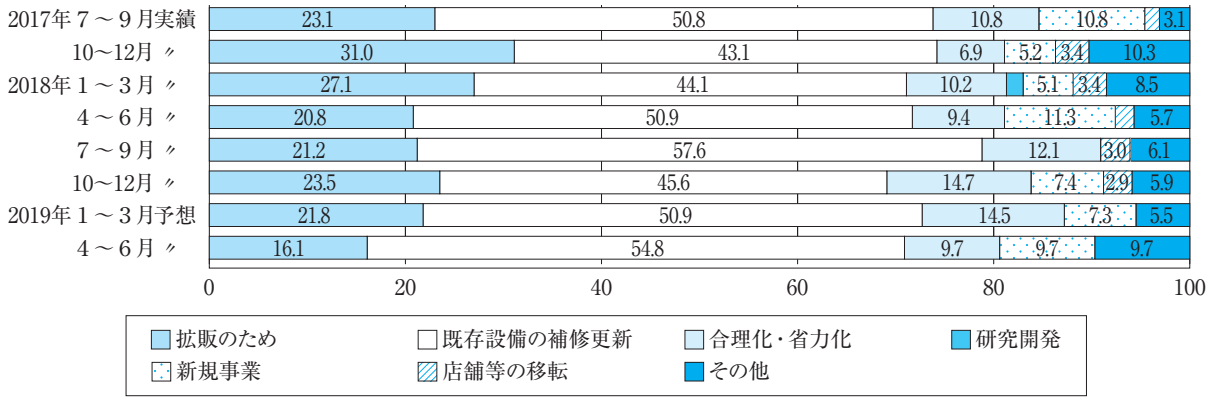
今後１年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（21.6％）が「減らしたい」（12.8％）を8.8ポイント上回り、この差は２期ぶりにプラスとなった。

設備投資の目的

(1) 製　造　業



(2) 非　製　造　業



（複数回答）

回答企業の概要

（社）

		総　数	製造業	非製造業
資本金規模	１百万円未満	0	0	0
	１～３百万円未満	1	1	0
	３～５百万円未満	5	1	4
	５～10百万円未満	2	0	2
	10～50百万円未満	103	27	76
	50～１億円未満	46	19	27
	１億円以上	27	11	16
	計	184	59	125
従業員数	10人未満	18	4	14
	10～ 30人未満	36	12	24
	30～ 50人未満	37	10	27
	50～100人未満	33	5	28
	100～200人未満	31	11	20
	200～300人未満	10	7	3
	300～	19	10	9
	計	184	59	125

（社）

業　種		回答
製造業	食料品	9
	繊維製品	4
	木材・木製品	10
	パルプ・紙	3
	化学工業	7
	窯業・土石	5
	機械・金属	15
	その他	6
	計	59
非製造業	建設業	17
	運送業	11
	卸売業	35
	小売業	23
	サービス業	38
	その他	1
	計	125
総　数		184

参考資料

ＢＳＩ

(1) 業況判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年4～6月実績	14	61	25	△11	△ 7	10	70	20	△10	△13	16	57	27	△11	△ 3
7～9月 〃	9	64	27	△18	△12	8	65	27	△19	△12	9	64	27	△18	△12
10～12月 〃	19	64	17	2	△11	16	63	21	△ 5	△15	20	65	15	5	△11
2018年1～3月 〃	13	61	26	△13	△10	14	55	31	△17	△10	12	64	24	△12	△11
4～6月 〃	12	61	27	△15	△11	13	69	18	△ 5	△ 9	11	58	31	△20	△11
7～9月 〃	10	67	23	△13	△ 7	8	64	28	△20	△13	11	68	21	△10	△ 4
10～12月 〃	**21**	**65**	**14**	**7**	**△ 6**	**19**	**62**	**19**	**0**	**△10**	**22**	**66**	**12**	**10**	**△ 6**
2019年1～3月予想	9	73	18	△ 9	△ 6	12	69	19	△ 7	0	8	74	18	△10	△ 9
4～6月 〃	11	69	20	△ 9	△ 5	15	68	17	△ 2	△ 6	10	69	21	△11	△ 2

(2) 売上げ判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年4～6月実績	30	36	34	△ 4	5	32	43	25	7	7	29	33	38	△ 9	5
7～9月 〃	28	43	29	△ 1	2	30	43	27	3	7	27	43	30	△ 3	0
10～12月 〃	40	39	21	19	△ 1	41	36	23	18	1	39	41	20	19	△ 2
2018年1～3月 〃	28	38	34	△ 6	1	29	34	37	△ 8	5	27	41	32	△ 5	0
4～6月 〃	30	35	35	△ 5	4	32	46	22	10	10	29	30	41	△12	1
7～9月 〃	28	46	26	2	6	32	41	27	5	9	27	48	25	2	5
10～12月 〃	**47**	**33**	**20**	**27**	**7**	**49**	**31**	**20**	**29**	**12**	**46**	**34**	**20**	**26**	**5**
2019年1～3月予想	19	47	34	△15	△ 8	20	41	39	△19	△ 6	18	50	32	△14	△ 9
4～6月 〃	27	48	25	2	11	34	44	22	12	12	24	50	26	△ 2	11

(3) 経常利益判断

（単位：%，ポイント）

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2017年4～6月実績	22	42	36	△14	△ 4	20	48	32	△12	△10	23	39	38	△15	△ 3
7～9月 〃	23	46	31	△ 8	△ 4	27	45	28	△ 1	2	22	46	32	△10	△ 6
10～12月 〃	33	44	23	10	△ 8	36	34	30	6	△ 6	32	48	20	12	△ 9
2018年1～3月 〃	23	43	34	△11	△ 6	27	37	36	△ 9	△ 2	21	46	33	△12	△ 7
4～6月 〃	24	41	35	△11	△ 2	27	46	27	0	2	23	39	38	△15	△ 4
7～9月 〃	20	50	30	△10	△ 5	22	50	28	△ 6	△ 3	20	49	31	△11	△ 6
10～12月 〃	**43**	**35**	**22**	**21**	**2**	**41**	**28**	**31**	**10**	**△ 1**	**44**	**38**	**18**	**26**	**4**
2019年1～3月予想	19	49	32	△13	△ 8	22	42	36	△14	△ 8	18	52	30	△12	△ 7
4～6月 〃	23	51	26	△ 3	6	31	45	24	7	9	20	54	26	△ 6	5

（注）ＢＳＩ＝(好転)－(悪化)

公益財団法人徳島経済研究所　徳島市西船場町 2-12 阿波銀行第2別館4階
TEL088-652-7181　FAX088-625-3818　http://www.teri.or.jp